

地域・在宅看護論実習Ⅰ（地域で暮らす人々への支援）

I. 目的

あらゆる健康レベルの人々の生活の実際や、生活を支える地域の取り組みを理解する。

II. 目標

1. 看護の対象となる地域で生活する人々への支援の必要性が理解できる。
2. 地域で生活する人々に対する地域における支援について理解できる。

III. 実習時期

2年次後期～3年次後期

IV. 実習場所

地域包括支援センター、社会福祉協議会、公民館、居宅介護支援事業所

V. 行動目標および学習内容

実習目標	行動目標	学習内容
1. 看護の対象となる地域で生活する人々への支援の必要性が理解できる。	1) 看護の対象となる地域の人々について述べられる。 2) 地域の人々の生活について述べられる。 3) 地域の人々の生活に対する価値観の多様性について述べられる。 4) 地域の人々に対する支援の必要性が述べられる。	年齢構成、家族構成、受療状況 衣食住、子育て・就労状況、近隣住民との関係性 生きがい、健康観、価値観 高齢者の生活、健康状態、健康課題、発達段階
2. 地域で生活する人々に対する地域における支援について理解できる。	1) 地域住民による支えあいが述べられる。 2) 地域の人々が健康課題を解決するための社会福祉協議会の取り組みについて述べられる。 3) 地域の人々が健康課題を解決するための地域包括支援センターの取り組みについて述べられる。 4) 地域の人々が健康課題を解決するための居宅介護支援事業所の取り組みについて述べられる。	近隣の住民どうしでの助け合い、地域の自主活動、支えあいの体制、市民グループによる活動、ボランティア活動 社会福祉協議会の役割、職種、事業内容 地域包括支援センターの役割、職種、事業内容 居宅介護支援事業所の役割、職種、事業内容